

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 四国財務局長

【提出日】 平成23年10月13日

【四半期会計期間】 第52期第2四半期(自 平成23年6月1日 至 平成23年8月31日)

【会社名】 株式会社マルヨシセンター

【英訳名】 Maruyoshi Center Inc.

【代表者の役職氏名】 代表取締役会長兼社長 佐竹 文 彰

【本店の所在の場所】 香川県高松市南新町4番地の6

【電話番号】 (087)831 9191

【事務連絡者氏名】 執行役員総合企画部マネジャー 竹 垣 亘

【最寄りの連絡場所】 香川県高松市国分寺町国分367番地1

【電話番号】 (087)874 5511

【事務連絡者氏名】 執行役員総合企画部マネジャー 竹 垣 亘

【縦覧に供する場所】 株式会社大阪証券取引所
(大阪市中央区北浜1丁目8番16号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

連結経営指標等

回次	第51期 第2四半期連結 累計期間	第52期 第2四半期連結 累計期間	第51期 第2四半期連結 会計期間	第52期 第2四半期連結 会計期間	第51期
会計期間	自 平成22年 3月1日 至 平成22年 8月31日	自 平成23年 3月1日 至 平成23年 8月31日	自 平成22年 6月1日 至 平成22年 8月31日	自 平成23年 6月1日 至 平成23年 8月31日	自 平成22年 3月1日 至 平成23年 2月28日
売上高 (千円)	20,406,480	20,333,158	10,669,832	10,345,850	40,303,777
経常利益 (千円)	132,460	168,389	115,575	54,744	269,608
四半期(当期)純利益 (千円)	60,076	44,004	63,055	21,789	100,399
純資産額 (千円)			2,635,653	2,660,936	2,674,039
総資産額 (千円)			21,406,201	20,666,598	20,371,081
1株当たり純資産額 (円)			316.09	322.40	320.69
1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)	7.20	5.29	7.56	2.63	12.04
潜在株式調整後 1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)					
自己資本比率 (%)			12.3	12.9	13.1
営業活動による キャッシュ・フロー (千円)	62,802	1,259,606			326,704
投資活動による キャッシュ・フロー (千円)	699,867	545,040			165,735
財務活動による キャッシュ・フロー (千円)	375,499	497,105			50,584
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高 (千円)			714,554	751,725	534,264
従業員数 (名)			621	584	602

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式がないため記載しておりません。

2 【事業の内容】

当第2四半期連結会計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)において営まれている事業の内容について、重要な変更はありません。

また、主要な関係会社についても異動はありません。

3 【関係会社の状況】

当第2四半期連結会計期間において、重要な関係会社の異動はありません。

4 【従業員の状況】

(1) 連結会社の状況

平成23年8月31日現在

従業員数(名)	584 (1,200)
---------	-------------

(注) 従業員数は就業人員であり、臨時雇用者数(パートタイマー及び嘱託契約の従業員を含む。)は、()内に当第2四半期連結会計期間の平均人員を外数で記載しております。

(2) 提出会社の状況

平成23年8月31日現在

従業員数(名)	544 (1,027)
---------	-------------

(注) 従業員数は就業人員であり、臨時雇用者数(パートタイマー及び嘱託契約の従業員を含む。)は、()内に当第2四半期会計期間の平均人員を外数で記載しております。

第2 【事業の状況】

1 【生産、受注及び販売の状況】

(1) 販売実績

区分	当第2四半期連結会計期間 (自平成23年6月1日 至平成23年8月31日)	
	販売高(千円)	前年同四半期比(%)
小売事業		
青果	1,225,528	102.6
精肉	952,821	98.0
海産物	833,133	99.8
デイリー	1,796,345	98.3
惣菜	1,068,510	99.7
加工食品	3,495,437	95.4
日用雑貨	805,470	93.0
その他	127,163	95.2
小計	10,304,411	97.5
その他		
レストラン	41,438	39.6
小計	41,438	39.6
合計	10,345,850	97.0

- (注) 1 セグメント間取引については、相殺消去しております。
2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(2) 仕入実績

区分	当第2四半期連結会計期間 (自平成23年6月1日 至平成23年8月31日)	
	仕入高(千円)	前年同四半期比(%)
小売事業		
青果	1,000,491	105.1
精肉	652,871	97.9
海産物	578,928	98.1
デイリー	1,182,201	98.8
惣菜	542,582	101.9
加工食品	2,868,016	96.9
日用雑貨	680,675	101.0
その他	63,189	100.0
小計	7,568,957	99.1
その他		
レストラン	16,039	43.7
小計	16,039	43.7
合計	7,584,997	98.9

- (注) 1 セグメント間取引については、相殺消去しております。
2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

2 【事業等のリスク】

当第2四半期連結会計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。
また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

3 【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等は行われておりません。

4 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、本四半期報告書提出日現在において当社グループ(当社及び連結子会社)が判断したものであります。

(1) 経営成績の分析

当第2四半期連結会計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の影響や電力不足等による生産活動の低下等で企業活動が停滞する中、かつてない円高の進行により、依然として先行き不透明な状況が続いております。

当スーパーマーケット業界においても、業態を越えた競合状態が続く中、厳しい雇用情勢により消費マインドは冷え込んだまま推移し、天候不順もあいまって厳しい経営環境が続きました。

このような情勢の下、当社は季節の旬の商品や独自取扱商品の強化、それぞれの地域の顧客にとって価値のある食材・商品の提供や販売提案を店舗ごとに工夫をするなど、顧客へ積極的な働きかけを行っております。また、在庫の適量化や店舗オペレーションの最適化による人時生産性の向上に取り組むとともに、EDIの導入による営業事務の合理化、発注方式の変更による仕入数量の適正化にも取り組んでおります。

このような取り組みの結果、当第2四半期連結会計期間における売上高は103億45百万円(前年同期比3.0%減)、営業利益は1億28百万円(前年同期比21.8%減)、経常利益は54百万円(前年同期比52.6%減)、四半期純利益は21百万円(前年同期比65.4%減)となりました。

(2) 財政状態の分析

(資産)

流動資産は、現金及び預金が6億89百万円増加した一方、商品が6千万円減少したことなどにより、前期末に比べ5億65百万円増加の38億4百万円となりました。

有形固定資産は前期末に比べ2億78百万円減少し、140億73百万円となりました。無形固定資産は9百万円増加し、4億93百万円となりました。

投資その他の資産は、投資有価証券が4千万円増加した一方、繰延税金資産が15百万円、差入保証金が16百万円減少したことなどにより、前期末に比べ1百万円減少の22億94百万円となりました。

(負債)

負債は、前期末に比べ3億8百万円増加の180億5百万円となりました。その主な内訳は、長期、短期を合わせた借入金が4億3千万円減少した一方、買掛金が5億63百万円、未払法人税等が2千万円増加したこと、資産除去債務6千万円を計上したことなどによるものであります。

(純資産)

純資産は、前期末に比べ13百万円減少し、26億6千万円となりました。その主な内訳は、利益剰余金が18百万円増加したこと、自己株式が29百万円増加したことなどによるものであります。

(3) キャッシュ・フローの状況の分析

当第2四半期連結会計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)の増減については、営業活動により3億17百万円増加いたしました。投資活動により21百万円、財務活動により3億22百万円の減少となりました。この結果、当第2四半期連結会計期間末残高は、前四半期連結会計期間末に比べ26百万円減少し、7億51百万円(前年同期比5.2%増)となりました。

当第2四半期連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次の通りであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結会計期間における営業活動による資金の増加は、3億17百万円(前年同期比46.9%減)となりました。これは主に税金等調整前四半期純利益48百万円、キャッシュ・アウトを伴わない減価償却費1億74百万円、仕入債務の増加2億39百万円、たな卸資産の増加37百万円等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結会計期間における投資活動による資金の減少は、21百万円(前年同期比2.5%減)となりました。これは主に無形固定資産の取得による支出1千万円、投資有価証券の取得による支出14百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結会計期間における財務活動による資金の減少は、3億22百万円(前年同期比54.9%減)となりました。これは主に、長期、短期を合わせた借入金の減少2億85百万円及び自己株式の取得28百万円によるものであります。

(4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結会計期間において、当連結会社の事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(5) 研究開発活動

該当事項はありません。

第3 【設備の状況】

(1) 主要な設備の状況

当第2四半期連結会計期間において、主要な設備に重要な異動はありません。

(2) 設備の新設、除却等の計画

前四半期連結会計期間末に計画した重要な設備の新設、除却はありません。

当第2四半期連結会計期間において、新たに確定した重要な設備の改修は次の通りであります。

会社名 事業所名	所在地	セグメントの 名称	設備の内容	投資予定 金額総額 (千円)	投資 予定金額 既支払額 (千円)	資金調達 方法	着手年月	完成年月	完成後の 増加能力 (年間売上高) (千円)
提出会社 伊予店	愛媛県伊予市	小売事業	店舗	252,500	4,150	借入金	平成23年 9月	平成23年 10月	300,000

第4 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	21,750,000
計	21,750,000

【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間 末現在発行数(株) (平成23年8月31日)	提出日現在 発行数(株) (平成23年10月13日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	8,749,990	8,749,990	大阪証券取引所 (市場第二部)	単元株式数は1,000株であり ます。
計	8,749,990	8,749,990		

(2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成23年8月31日		8,749,990		1,077,998		813,528

(6) 【大株主の状況】

平成23年8月31日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
佐竹文彰	香川県高松市	1,624	18.56
マルヨシセンター取引先持株会	香川県高松市国分寺町国分367番地1	791	9.04
マルヨシセンター従業員持株会	香川県高松市国分寺町国分367番地1	503	5.75
有限会社 佐竹興産	香川県高松市一宮町910番地32	499	5.70
黒田泰弘	香川県高松市	416	4.75
株式会社 百十四銀行	香川県高松市亀井町5番地の1	413	4.72
株式会社 阿波銀行	徳島県徳島市西船場町2丁目24番地の1	386	4.41
桑原洋夫	香川県高松市	202	2.31
佐竹睦子	香川県高松市	201	2.30
株式会社 損害保険ジャパン	東京都新宿区1丁目26番地の1	150	1.71
計		5,185	59.26

(注) 当社が保有する自己株式は、459,970株(発行済株式総数に対する所有株式数の割合5.26%)であります。

(7) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成23年8月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 459,000 (相互保有株式) 普通株式 94,000		
完全議決権株式(その他)	普通株式 8,194,000	8,194	
単元未満株式	普通株式 2,990		1単元(1,000株)未満の株式
発行済株式総数	8,749,990		
総株主の議決権		8,194	

(注) 1 「単元未満株式」の欄には、当社所有の自己株式970株が含まれております。

2 「完全議決権株式(その他)」の株式数欄及び議決権の数欄には、証券保管振替機構名義の株式が1,000株(議決権1個)含まれております。

【自己株式等】

平成23年8月31日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) 株式会社マルヨシセンター	香川県高松市南新町 4番地の6	459,000		459,000	5.25
(相互保有株式) 株式会社レックス	香川県綾歌郡綾川町 東分乙60-7	94,000		94,000	1.07
計		553,000		553,000	6.32

2 【株価の推移】

【当該四半期累計期間における月別最高・最低株価】

月別	平成23年 3月	4月	5月	6月	7月	8月
最高(円)	360	368	350	338	348	330
最低(円)	336	336	318	304	335	325

(注) 株価は、大阪証券取引所市場第二部におけるものであります。

3 【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書提出日後、当四半期報告書提出日までの役員の異動はありません。

第5 【経理の状況】

1 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号。以下「四半期連結財務諸表規則」という。)に基づいて作成しております。

なお、前第2四半期連結会計期間(平成22年6月1日から平成22年8月31日まで)及び前第2四半期連結累計期間(平成22年3月1日から平成22年8月31日まで)は、改正前の四半期連結財務諸表規則に基づき、当第2四半期連結会計期間(平成23年6月1日から平成23年8月31日まで)及び当第2四半期連結累計期間(平成23年3月1日から平成23年8月31日まで)は、改正後の四半期連結財務諸表規則に基づいて作成しております。

2 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、前第2四半期連結会計期間(平成22年6月1日から平成22年8月31日まで)及び前第2四半期連結累計期間(平成22年3月1日から平成22年8月31日まで)に係る四半期連結財務諸表並びに当第2四半期連結会計期間(平成23年6月1日から平成23年8月31日まで)及び当第2四半期連結累計期間(平成23年3月1日から平成23年8月31日まで)に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツにより四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成23年8月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成23年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,363,725	674,264
売掛金	86,944	64,640
商品	2,022,864	2,083,594
繰延税金資産	101,643	79,822
その他	229,546	336,502
流動資産合計	3,804,725	3,238,824
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	16,393,107	16,352,497
減価償却累計額	10,294,640	10,047,378
建物及び構築物(純額)	6,098,466	6,305,118
機械装置及び運搬具	1,706,238	1,688,266
減価償却累計額	1,466,065	1,439,978
機械装置及び運搬具(純額)	240,173	248,288
工具、器具及び備品	2,517,532	2,525,815
減価償却累計額	2,180,924	2,131,176
工具、器具及び備品(純額)	336,608	394,638
土地	7,290,029	7,290,029
リース資産	137,985	135,597
減価償却累計額	34,023	21,642
リース資産(純額)	103,961	113,954
建設仮勘定	4,150	-
有形固定資産合計	14,073,388	14,352,029
無形固定資産	493,548	483,820
投資その他の資産		
投資有価証券	657,763	617,646
繰延税金資産	506,534	521,545
差入保証金	957,956	974,640
その他	172,681	182,575
投資その他の資産合計	2,294,935	2,296,408
固定資産合計	16,861,873	17,132,257
資産合計	20,666,598	20,371,081

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成23年8月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成23年2月28日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	3,007,106	2,443,714
短期借入金	3,970,000	4,460,000
1年内返済予定の長期借入金	2,752,737	2,822,066
未払法人税等	109,198	88,717
賞与引当金	109,981	108,672
ポイント引当金	37,977	37,300
その他	873,336	784,122
流動負債合計	10,860,336	10,744,592
固定負債		
長期借入金	5,955,650	5,827,219
退職給付引当金	834,956	822,787
役員退職慰労引当金	160,200	154,700
資産除去債務	60,427	-
その他	134,091	147,743
固定負債合計	7,145,325	6,952,450
負債合計	18,005,662	17,697,042
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,077,998	1,077,998
資本剰余金	813,528	813,528
利益剰余金	1,004,490	985,602
自己株式	179,765	150,411
株主資本合計	2,716,252	2,726,717
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	54,816	51,847
繰延ヘッジ損益	499	830
評価・換算差額等合計	55,316	52,678
純資産合計	2,660,936	2,674,039
負債純資産合計	20,666,598	20,371,081

(2)【四半期連結損益計算書】
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年3月1日 至平成22年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年3月1日 至平成23年8月31日)
売上高	20,406,480	20,333,158
売上原価	15,388,605	15,492,681
売上総利益	5,017,874	4,840,477
営業収入	269,536	271,680
営業総利益	5,287,410	5,112,157
販売費及び一般管理費		
販売促進費	423,355	389,423
消耗品費	168,270	135,164
運賃	165,810	165,152
賃借料	93,147	59,618
地代家賃	462,555	443,270
修繕維持費	200,527	201,252
給料手当及び賞与	2,080,609	1,998,425
福利厚生費	262,631	245,642
賞与引当金繰入額	102,561	97,625
退職給付費用	56,011	52,377
役員退職慰労引当金繰入額	4,750	5,500
水道光熱費	450,916	438,661
減価償却費	286,657	275,000
その他	299,892	294,899
販売費及び一般管理費合計	5,057,695	4,802,014
営業利益	229,715	310,143
営業外収益		
受取利息及び配当金	3,969	4,077
持分法による投資利益	15,393	9,404
補助金収入	27,700	5,489
その他	39,247	12,535
営業外収益合計	86,310	31,507
営業外費用		
支払利息	177,315	161,662
その他	6,250	11,598
営業外費用合計	183,566	173,260
経常利益	132,460	168,389
特別損失		
固定資産除却損	17,433	4,841
会員権売却損	-	2,200
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	-	27,816
特別損失合計	17,433	34,857
税金等調整前四半期純利益	115,026	133,531
法人税、住民税及び事業税	23,536	94,553
法人税等調整額	31,413	5,026
法人税等合計	54,949	89,527
少数株主損益調整前四半期純利益	-	44,004
四半期純利益	60,076	44,004

【第2四半期連結会計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結会計期間 (自平成22年6月1日 至平成22年8月31日)	当第2四半期連結会計期間 (自平成23年6月1日 至平成23年8月31日)
売上高	10,669,832	10,345,850
売上原価	8,056,949	7,898,597
売上総利益	2,612,883	2,447,252
営業収入	139,172	140,739
営業総利益	2,752,055	2,587,991
販売費及び一般管理費		
販売促進費	227,605	215,895
消耗品費	71,857	69,421
運賃	87,365	85,627
賃借料	44,479	28,543
地代家賃	230,122	220,906
修繕維持費	104,949	99,378
給料手当及び賞与	1,032,155	982,339
福利厚生費	127,015	122,390
賞与引当金繰入額	85,538	80,552
退職給付費用	28,283	26,951
役員退職慰労引当金繰入額	2,373	3,075
水道光熱費	246,362	239,080
減価償却費	143,271	137,730
その他	156,994	148,081
販売費及び一般管理費合計	2,588,374	2,459,973
営業利益	163,680	128,018
営業外収益		
受取利息及び配当金	3,088	3,044
持分法による投資利益	10,282	2,450
その他	29,519	4,049
営業外収益合計	42,890	9,544
営業外費用		
支払利息	87,730	79,013
その他	3,265	3,804
営業外費用合計	90,996	82,817
経常利益	115,575	54,744
特別損失		
固定資産除却損	6,111	4,021
会員権売却損	-	2,200
特別損失合計	6,111	6,221
税金等調整前四半期純利益	109,463	48,523
法人税、住民税及び事業税	17,851	6,181
法人税等調整額	28,557	20,552
法人税等合計	46,408	26,733
少数株主損益調整前四半期純利益	-	21,789
四半期純利益	63,055	21,789

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年3月1日 至平成22年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年3月1日 至平成23年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	115,026	133,531
減価償却費	356,605	348,456
有形固定資産除却損	10,350	4,841
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	-	27,816
貸倒引当金の増減額(は減少)	930	930
退職給付引当金の増減額(は減少)	49,114	12,168
役員退職慰労引当金の増減額(は減少)	3,950	5,500
受取利息及び受取配当金	3,969	4,077
支払利息	177,315	161,662
売上債権の増減額(は増加)	30,580	22,304
たな卸資産の増減額(は増加)	84,029	60,730
仕入債務の増減額(は減少)	81,499	563,391
未払金の増減額(は減少)	85,091	53,694
前受金の増減額(は減少)	19,899	51,636
未払消費税等の増減額(は減少)	50,384	43,105
その他	114,709	156,389
小計	282,928	1,494,199
利息及び配当金の受取額	4,028	3,863
利息の支払額	199,397	163,991
法人税等の支払額	24,757	74,465
営業活動によるキャッシュ・フロー	62,802	1,259,606
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	613,000	602,000
定期預金の払戻による収入	160,000	130,000
有形固定資産の取得による支出	239,783	35,949
無形固定資産の取得による支出	7,388	13,447
差入保証金の差入による支出	2,691	908
差入保証金の回収による収入	9,735	17,592
投資有価証券の取得による支出	5,010	45,022
投資有価証券の売却及び償還による収入	298	3,514
その他	2,027	1,180
投資活動によるキャッシュ・フロー	699,867	545,040
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(は減少)	506,500	490,000
長期借入れによる収入	3,486,700	1,450,000
長期借入金の返済による支出	3,584,100	1,390,898
リース債務の返済による支出	8,687	12,958
自己株式の取得による支出	-	28,536
配当金の支払額	24,912	24,713
財務活動によるキャッシュ・フロー	375,499	497,105
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	261,565	217,461
現金及び現金同等物の期首残高	976,120	534,264
現金及び現金同等物の四半期末残高	714,554	751,725

【四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更】

	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年3月1日 至 平成23年8月31日)
会計処理基準に関する事項の変更	(資産除去債務に関する会計基準の適用) 第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しております。 これにより、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益はそれぞれ1,351千円減少し、税金等調整前四半期純利益は29,168千円減少しております。

【表示方法の変更】

	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年3月1日 至 平成23年8月31日)
(四半期連結損益計算書関係)	「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成20年12月26日)に基づく財務諸表等規則等の一部を改正する内閣府令(平成21年3月24日 内閣府令第5号)の適用により、当第2四半期連結累計期間では、「少数株主損益調整前四半期純利益」の科目を表示しております。

	当第2四半期連結会計期間 (自 平成23年6月1日 至 平成23年8月31日)
(四半期連結損益計算書関係)	「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成20年12月26日)に基づく財務諸表等規則等の一部を改正する内閣府令(平成21年3月24日 内閣府令第5号)の適用により、当第2四半期連結会計期間では、「少数株主損益調整前四半期純利益」の科目を表示しております。

【簡便な会計処理】

当第2四半期連結累計期間(自 平成23年3月1日 至 平成23年8月31日)

該当事項はありません。

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

当第2四半期連結会計期間末 (平成23年8月31日)	前連結会計年度末 (平成23年2月28日)
<p>1 保証債務等 関連会社の金融機関からの借入金に対して次のとおり保証を行っております。 (株)レックス 338,990千円 また、西淡まちづくり(株)の中小企業高度化資金借入に係る当社取締役の兵庫県への連帯保証について次のとおり再保証をしております。 当社代表取締役 佐竹文彰 331,160千円</p>	<p>1 保証債務等 関連会社の金融機関からの借入金に対して次のとおり保証を行っております。 (株)レックス 323,550千円 また、西淡まちづくり(株)の中小企業高度化資金借入に係る当社取締役の兵庫県への連帯保証について次のとおり再保証をしております。 当社代表取締役 佐竹文彰 331,160千円</p>

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年3月1日 至 平成22年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年3月1日 至 平成23年8月31日)
現金及び現金同等物の当第2四半期連結累計期間末 残高と当第2四半期連結貸借対照表に掲記されてい る科目の金額との関係 (平成22年8月31日現在)	現金及び現金同等物の当第2四半期連結累計期間末 残高と当第2四半期連結貸借対照表に掲記されてい る科目の金額との関係 (平成23年8月31日現在)
現金及び預金 1,337,554千円	現金及び預金 1,363,725千円
預入期間が3か月超の定期預金 623,000千円	預入期間が3か月超の 定期預金及び定期積金 612,000千円
現金及び現金同等物 714,554千円	現金及び現金同等物 751,725千円

(株主資本等関係)

当第2四半期連結会計期間末(平成23年8月31日)及び当第2四半期連結累計期間(自 平成23年3月1日
至 平成23年8月31日)

1. 発行済株式の種類及び総数

株式の種類	当第2四半期 連結会計期間末
普通株式(株)	8,749,990

2. 自己株式の種類及び株式数

株式の種類	当第2四半期 連結会計期間末
普通株式(株)	496,357

3. 新株予約権等に関する事項

該当事項はありません。

4. 配当に関する事項

(1) 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成23年5月26日 定時株主総会	普通株式	25,116	3	平成23年2月28日	平成23年5月27日	利益剰余金

(2) 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会
計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

5. 株主資本の著しい変動

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【事業の種類別セグメント情報】

前第2四半期連結会計期間(自平成22年6月1日至平成22年8月31日)及び前第2四半期連結累計期間(自平成22年3月1日至平成22年8月31日)

全セグメントの売上高の合計、営業利益の合計額に占める「小売事業」の割合が、いずれも90%を超えるため、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

【所在地別セグメント情報】

前第2四半期連結会計期間(自平成22年6月1日至平成22年8月31日)及び前第2四半期連結累計期間(自平成22年3月1日至平成22年8月31日)

在外子会社及び在外支店がないため、該当事項はありません。

【海外売上高】

前第2四半期連結会計期間(自平成22年6月1日至平成22年8月31日)及び前第2四半期連結累計期間(自平成22年3月1日至平成22年8月31日)

海外売上高がないため、該当事項はありません。

【セグメント情報】

(追加情報)

第1四半期連結会計期間より「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準第17号平成21年3月27日)及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第20号平成20年3月21日)を適用しております。

当社グループは、報告セグメントが小売事業のみであり、当社の業績における「その他」の重要性が乏しいため、記載を省略しております。なお、「その他」には、レストラン等が含まれております。

(1株当たり情報)

1 1株当たり純資産額

当第2四半期連結会計期間末 (平成23年8月31日)	前連結会計年度末 (平成23年2月28日)
1株当たり純資産額 322.40円	1株当たり純資産額 320.69円

2 1株当たり四半期純利益金額等

第2四半期連結累計期間

前第2四半期連結累計期間 (自平成22年3月1日 至平成22年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年3月1日 至平成23年8月31日)
1株当たり四半期純利益金額 7.20円 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため、記載していません。	1株当たり四半期純利益金額 5.29円 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため、記載していません。

(注) 1株当たり四半期純利益金額の算定上の基礎

項目	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年3月1日 至平成22年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年3月1日 至平成23年8月31日)
四半期純利益(千円)	60,076	44,004
普通株主に帰属しない金額(千円)		
普通株式に係る四半期純利益(千円)	60,076	44,004
普通株式の期中平均株式数(株)	8,339,518	8,313,796

第2四半期連結会計期間

前第2四半期連結会計期間 (自平成22年6月1日 至平成22年8月31日)	当第2四半期連結会計期間 (自平成23年6月1日 至平成23年8月31日)
1株当たり四半期純利益金額 7.56円 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため、記載していません。	1株当たり四半期純利益金額 2.63円 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため、記載していません。

(注) 1株当たり四半期純利益金額の算定上の基礎

項目	前第2四半期連結会計期間 (自平成22年6月1日 至平成22年8月31日)	当第2四半期連結会計期間 (自平成23年6月1日 至平成23年8月31日)
四半期純利益(千円)	63,055	21,789
普通株主に帰属しない金額(千円)		
普通株式に係る四半期純利益(千円)	63,055	21,789
普通株式の期中平均株式数(株)	8,338,348	8,291,959

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2 【その他】

該当事項はありません。

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成22年10月6日

株式会社 マルヨシセンター
取締役会 御中

有限責任監査法人 トーマツ

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 高 田 武 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 久 保 誉 一 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社マルヨシセンターの平成22年3月1日から平成23年2月28日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間(平成22年6月1日から平成22年8月31日まで)及び第2四半期連結累計期間(平成22年3月1日から平成22年8月31日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書及び四半期連結キャッシュ・フロー計算書について四半期レビューを行った。この四半期連結財務諸表の作成責任は経営者にあり、当監査法人の責任は独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。四半期レビューは、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続により行われており、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べ限定された手続により行われた。

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社マルヨシセンター及び連結子会社の平成22年8月31日現在の財政状態、同日をもって終了する第2四半期連結会計期間及び第2四半期連結累計期間の経営成績並びに第2四半期連結累計期間のキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

- (注) 1 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。
- 2 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成23年10月6日

株式会社 マルヨシセンター
取締役会 御中

有限責任監査法人 トーマツ

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 高 田 武 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 久 保 誉 一 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社マルヨシセンターの平成23年3月1日から平成24年2月29日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間(平成23年6月1日から平成23年8月31日まで)及び第2四半期連結累計期間(平成23年3月1日から平成23年8月31日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書及び四半期連結キャッシュ・フロー計算書について四半期レビューを行った。この四半期連結財務諸表の作成責任は経営者であり、当監査法人の責任は独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。四半期レビューは、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続により行われており、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べ限定された手続により行われた。

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社マルヨシセンター及び連結子会社の平成23年8月31日現在の財政状態、同日をもって終了する第2四半期連結会計期間及び第2四半期連結累計期間の経営成績並びに第2四半期連結累計期間のキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

- (注) 1 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。
- 2 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。